

各 位

2020年6月1日
株式会社デジタルハーツホールディングス**レッドチーム・テクノロジーズ、協業先である米国 Synack 社の大型増資を背景に
同社との連携を一層強化し、アジア地域全体における主要なセールスパートナーへ**

株式会社デジタルハーツホールディングス(本社所在地:東京都新宿区、代表取締役社長 CEO:玉塚 元一、東証第一部:証券コード3676)の子会社である株式会社レッドチーム・テクノロジーズ(以下、「レッドチーム・テクノロジーズ」)は、協業先である米国セキュリティベンチャー企業のSynack社が、2020年5月28日(米国時間)に上場前の最終資金調達を完了したことを受け、この度、同社の国内唯一のパートナー企業として連携をより一層強化し、日本のみならず、アジア地域全体におけるセールスパートナーとして事業拡大を推進していくこととなりましたので、お知らせいたします。

Synack社は、厳しい身元調査と技術審査に通過した1,500名以上のホワイトハッカーが、クラウド上に構築した検査基盤を経由し、侵入者が実行するサイバー攻撃と同様の手法を駆使して、電子商取引システムやオンラインバンキング等のミッションクリティカルなアプリケーションやシステム基盤におけるセキュリティ状況を調査・分析するペネトレーションテストサービスを提供する米国のセキュリティベンチャーです。同社は、米国の国防総省や国税局をはじめ、大手金融機関や大手コンサルティングファーム等多くの企業に本サービスを提供しており、Google VenturesやMicrosoft Venturesも資本出資するなど、その技術力と信頼性は高く評価されております。また、2020年5月28日(米国時間)にSynack社は、本サービスのグローバル展開を加速させることを目的に、5,200万ドル(約56億円相当)の資金調達を完了しており、今後さらなる事業拡大が期待されております。

レッドチーム・テクノロジーズは、ソフトウェアテスト専門企業である株式会社デジタルハーツホールディングスと日本のセキュリティサービス大手である株式会社ラックの合併会社として設立され、2019年12月よりSynack社のペネトレーションテストサービスを日本市場向けに提供して参りました。既に国内大手旅行予約サイトや大手流通サイト等、様々な業種にサービスを提供しており、Synack社の数あるパートナー企業の中からSynack Trust Partner Awardを受賞するなど、同社の重要なパートナーとして実績とモメンタムを確立して参りました。

この度レッドチーム・テクノロジーズのこれまでの実績が評価され、今後Synack社が最も注力するアジア地域における主要なセールスパートナーに選ばれました。

企業のデジタルトランスフォーメーションやリモートワーク環境の整備が加速度的に進み、スマートフォンアプリケーションやビジネスシステムが、生活や経済活動を営む上で必要不可欠な社会基盤となるなか、企業やネットコミュニティにおけるセキュリティ対策の重要性は一層高まっています。レッドチーム・テクノロジーズは、Synack社のペネトレーションテストサービスをはじめ、エキスパートによる高度なセキュリティサービスの提供に努め、日本を起点にアジア全域のセキュリティ向上に貢献して参ります。

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社デジタルハーツホールディングス IR広報部 安丸
電話:03-3373-0081(月~金:9時半~18時半/土日祝:休日)
E-mail:ir_info@digitalhearts.com

【株式会社デジタルハーツホールディングス概要】

デジタルハーツホールディングス HP :<https://www.digitalhearts-hd.com/>
設 立 :2013年10月1日
代 表 取 締 役 社 長 C E O :玉塚 元一
本 社 所 在 地 :東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
グ ル ー プ 会 社 の 事 業 内 容 :システムテスト、システムの受託開発、セキュリティサービス等

(※1) 各社の会社名、サービス・製品名は各社の商標または登録商標です。

(※2) Synack社の資金調達に関する詳細は、別添の参考資料をご参照ください。

(参考資料)

Synack社が 5,200万ドルの増資 世界のエリートハッカーによる クラウドソーシング・セキュリティテストの未来を加速

Synackは、高い倫理観と技術力を有するハッカーと人工知能を組み合わせた独自のクラウドソース・ペネトレーションテストのプラットフォームを向上させ進化し続けるサイバー攻撃の脅威に立ち向かいます。

2020年5月28日- Synack, Inc. (以下「Synack」) は本日、世界で最も熟練したホワイトハッカーが独自の技術を駆使し、深刻なソフトウェアの脆弱性の発見を行うクラウドソースの検査プラットフォームを利用したセキュリティテストを向上させるため、シリーズDラウンドにおいて5,200万ドル(約56億円相当)を調達したことを発表しました。

新規投資家のB Capital GroupとC5 Capital が共同で、この資金調達ラウンドをリードし、調達の総額は1億1,210万ドル以上となりました。以前からの投資家であるGGV Capital、GV(旧Google Ventures)、Hewlett Packard Pathfinder、Icon Ventures、Intel Capital、Kleiner Perkins、M12(旧Microsoft Ventures)、Singtel Innov8 (Singtelグループのコーポレートベンチャーチーム)もこの資金調達ラウンドに参加しています。

2013年、Synackは最高レベルのサイバーセキュリティ人材を活用して、組織を危険にさらしている深刻な脆弱性を迅速に発見すべく取り組みを開始しました。現在、世界82ヶ国以上から集められた1,500名以上の最も熟練した倫理的なハッカーが、Synackレッドチーム(以下「SRT」)の常勤メンバーとして活躍しています。Synackは、人工知能と機械学習を活用した継続的なセキュリティ監視技術により検知機能を強化し、迅速かつ効率的に脆弱性一掃を可能にします。

1兆ドル超の資産を有する世界的な銀行、流通事業者、ヘルスケア企業などGlobal 2000にランキングされる企業や、(「Hack the Pentagon」プログラムの一部を含む)国防総省を含む主要な連邦政府機関や、General Dynamics Information Technologyのような最先端の防衛・航空宇宙企業などが、最も重要な資産をSynackに預けています。今回の5,200万ドルの資金調達により、Synackは、SRTのコミュニティへの投資を更に拡大させるほか、脆弱性の継続的な監視やデータ分析・調査の強化を行うSmartScan®の技術を更に進化させ、Synackのホワイトハッカーによるアプローチの価値を実証することが可能になります。

上記に加えSynackは、調達した資金を以下のような用途に投資していきます：

- グローバル事業展開

米国、欧州、一部の中東、アジアの企業では、既にSynackの検査プラットフォームが採用されており、高度で継続的な脆弱性テストを必要とする企業や組織と新たな関係を構築し、グローバルにビジネスを展開・拡大していきます。更に Synackは、Global 2000 企業の枠を超え、中堅や小規模の企業の要求にも対応するべく、サービス提供領域を拡大していきたいと考えています。

- コアサービスの継続的な革新

Synack は、ハッカーが有する能力に人工知能や機械学習を組み合わせ、悪用可能な脆弱性を大規模に見つけ出し修復するというコアサービスのさらなる革新のために投資していきます。

- 新サービスへの開発投資

あらゆる組織が従来以上にリモートワークへの依存度が高くなるなか、今回の資金調達により新製品やサービスへの投資を柔軟に行い、クラウドソースを活用したサイバーセキュリティモデルの更なる拡大が可能となります。

SynackのCEOであるJay Kaplan氏は以下のように述べています。

「この数年、リモートワークの魅力が年々高まっており、もはやリモートワークは必要不可欠なワークスタイルとなり、企業規模にかかわらず、機敏に動き、分散化された労働力を活用することを可能とするプラットフォームやサービスを利用しています。

サイバーセキュリティにおける信頼と制御を保証する唯一の方法は、かつては現場で作業を実施することでした。しかし、もはやそのような方法は過去のものとなりました。Synackは、信頼と可視性を維持し、最も優秀な倫理的ハッカーの集団へのアクセス権をお客様に提供し、今日の容赦ないサイバー攻撃から身を守ることを可能にします。過去7年間、当社はこのモデルにより、重要な組織の安全を維持してきたことを証明してきました。」

主要投資家であるB Capital GroupとC5 Capitalは、Synackとパートナー提携を結び、次の成長につながる付加価値向上を目指しています。B Capital Group は、成長段階の企業に特化した国際的な投資家として、社内の専任チームとBoston Consulting Group との戦略的パートナー提携を通じて、事業開発、運営、タレントマネジメント、資本形成などの分野で実践的なサポートを提供します。

Synackが、如何にして組織をサイバー攻撃から保護しているのか？

クラウドソースを活用したサイバーセキュリティモデルがどのように機能するのか？

ホワイトハッカーがプラットフォームでどのように活動するか？

等に関する詳しい情報は、www.synack.comをご参照ください。

Synackについて

Synackは最も信頼されているクラウドソースのセキュリティテストプラットフォームであり、他に類を見ない倫理的なハッカーの能力と独自のスキャンテクノロジーで組織を継続的に保護しています。世界82カ国以上から集まった1,500名以上の世界最高峰のセキュリティリサーチャーが、重要な脆弱性を探すSRTのコミュニティに参加しています。彼らの知性とSynackの強力なソフトウェアを組み合わせることで、世界をリードする銀行、連邦政府機関、国防総省の機密資産、そしてGlobal 2000の企業の収益、1兆ドル近くを保護しています。

CNBC Disruptor 50の企業に4度選ばれた実績を持つSynackは、元NSAセキュリティのエキスパートであり、CEOであるJay Kaplan氏とCTOであるDr. Mark Kuhr氏により2013年に設立されました。

詳細につきましては、www.synack.comをご覧ください。

B Capitalについて

B Capital Group は、ベンチャー企業や成長段階にある企業への株式投資に特化したグローバル企業で、顧客からの支持を得ています。B Capitalは、広いグローバルネットワークとBoston Consulting Groupとの独占的なパートナーシップを通して、高い成長を遂げるスタートアップ企業がビジネスにおける課題解決し、資金調達を行い、規模拡大に向けた機軸となる点における優秀なリーダーシップを獲得するための支援を行っています。

San Francisco、New York、Los Angeles、Singaporeにオフィスを構えるB Capital は、革新というものはどこからでも起こり得ると考えています。独自の多国籍企業としての存在感と深い業界知識により、企業のアプリケーションソフトウェア、インフラストラクチャ、セキュリティ、AI/ML、フィンテック、インシュアテック、ヘルスケアテック、Bio ITにおいて、国境や地域を越えて、大規模な従来の産業への変革をもたらすスタートアップ企業のポートフォリオを構築することを可能にします。投資先企業にはAlmotive、Atomwise、Blackbuck、Bounce、Bright.md、CXA、Evidation Health、Icertis、INTURN、Plastiq、Ninja Van、Notable Labs、SilverCloud Healthが含まれます。詳細につきましては、<http://www.bcapgroup.com/>をご覧ください。

C5 Capitalについて

C5 Capital Limited (C5) は、サイバーセキュリティ、クラウド、AI、宇宙などのセキュアなデータエコシステムに特化した投資を行うグローバルな専門投資会社です。C5のミッションに共感する革新的な企業との長期的な関係構築を基本とした投資戦略で、安全なデジタルの未来を育むことに取り組んでいます。詳細につきましては、<http://www.c5capital.com>をご覧ください。

今回の資金調達完了に関して、Synackのサービスを日本で展開する株式会社レッドチーム・テクノロジーズのオーナー企業より、Synackへ以下のメッセージが寄せられています。

「国の基盤を含めてデジタル社会が加速している中、その堅牢性を実証してみせるSynack pen-test は日本においても更に需要が拡大すると確信します。D-round増資によりSynackの強みをさらに強化し益々飛躍をされることを期待しています。」

株式会社ラック 代表取締役社長 西本 逸郎

「Synack のクラウドソーシングペネトレーションテストは、環境に依存するITサービスの課題を解消し、実証的なセキュリティ構築を支援する最も高品位なサービスであると確信します。従来のサイバーセキュリティサービスに課題を感じ、高度なセキュリティを要する企業の要求に対応出来るSynackのサービスを日本とアジアへ届ける事を誇りに感じます。今回の増資を機に、Synackが世界市場へ飛躍することを期待します。」

株式会社デジタルハーツホールディングス 代表取締役社長CEO 玉塚 元一

※このリリースは、Synackが開示したリリースに基づき翻訳したものになります。

本件に関する問い合わせ先

株式会社レッドチーム・テクノロジーズ マーケティンググループ

E-mail : rt2_sales@redteam.jp
